

都市再生整備計画

みゆきつじ
御幸辻地区（第2期）

《精算》

わかやま 和歌山県 はしもとし 橋本市

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	和歌山県	市町村名	橋本市	地区名	御幸辻地区	面積	20 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度				

目標							
大目標 公園を活用した安全で活力あるまちづくりの実現							
目標1 市民と観光の交流に対応した活力ある地域づくり							
目標2 市民が誇りに持てる安全で便利な公園づくり							

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<p>橋本市は、和歌山県の北東部に位置し、大阪府のベッドタウンとなっている。平成27年9月には、京阪神地域への交通の円滑化を図り、交流促進、府県間の連携強化に大きく寄与することを目的とし、国道371号「橋本バイパス」の供用が開始された。また、京都府と和歌山県を結ぶ京奈和自動車道が一部供用開始され、京都府及び奈良県へのアクセスが向上し、地域産業の活性化が期待されている。</p> <p>当地域は、平成23～27年度の都市再生整備計画事業において、南海電鉄御幸辻駅の駅前広場整備等を実施したほか、国道371号「橋本バイパス」に隣接し、京奈和自動車道橋本ICから約2kmに位置し、そして南海高野線御幸辻駅に近接している地域である。そのため、本市の広域的な交流の場や防災拠点としての役割が期待されており、地域の利便性・魅力の向上と広域的な交流機会を確保する観光や交流の場の確保が求められている。</p> <p>そういった中で、広域的な集約力の向上をもとにした賑わいを創出するための施設として、イベント等を開催することにより地域の活性化を実現すると共に、橋本バイパスに近接している杉村公園と一体となって、広域的な交流機会の増大を確保するなどの相乗効果が期待できる。</p>							
課題							
<ul style="list-style-type: none"> 御幸辻地区には南海御幸辻駅が位置し、国道371号橋本バイパスが供用開始されるなど地区を通過する人が増加しており、広域的な交流の場づくりが期待されているが、十分な活用が図られておらず、交流の場の確保・充実が求められている。 御幸辻地区に位置する杉村公園は、昭和46年10月に供用が開始された面積約12.7haを有する総合公園であり、地域の文化的遺産を継承した自然主体型の公園として多くの人に利用されている。しかし、本公園へ進入する道路は狹隘で駐車場も狭く、車両での来園者には不便な状況であり、また起伏の激しい山に位置していることから広場が十分に確保されておらず、同時に多くの人々に利用していただくことが難しい。 							
将来ビジョン(中長期)							
<p>【橋本市長期総合計画・基本構想】</p> <p>「観光・交流基盤を確立する」ことが位置づけられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信力強化、観光拠点の整備、埋もれた観光資源の発掘と整備等を進める上で、広域的アクセス性が高い場所に立地する本市の総合公園であり、歴史・自然資産が豊富である杉村公園を交流・観光の場として活用することが求められている。 <p>【橋本市都市計画マスタープラン】</p> <p>御幸辻地区が位置する紀見地域において、自然や歴史文化、交流を居住魅力としたまちづくりとして、コミュニティや交流の場となる杉村公園など公園・緑地等の充実させることを掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季折々の花が美しい杉村公園については、緑の拠点として、郷土資料館など公園施設の拡充や管理の充実とともに、緑豊かな景観の維持・向上に努める。 市民の主体的な公園の維持活動による愛護心の向上やコミュニティの活性化等を図るため、アドプト制度の導入を推進する。 							

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区内におけるイベント開催数	回/年	御幸辻地区内で1年間に開催されるイベント回数	地区内で開催されるイベントが増加することにより、広域的な交流機能の確保・充実により、地域の活性化を図る。	3	平成27年度	7	令和2年度
公園の来園者数	人/日	杉村公園の一般来園者数	公園施設等の充実に伴い、市民の公園利用の促進(増大)を図る。	149	平成27年度	290	令和2年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 広域的な交流拠点形成による活力ある地域づくり ・杉村公園の自然環境と歴史を併せて活用したイベントの充実や情報板の整備により広域的な交流の場を確保するとともに、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備に伴い、周辺道路の交通量が増加したことから、地域に暮らす人はもとより、本市を訪れる人が休憩できる施設を整備し、利便性・快適性を向上させる。</p>	<p>■基幹事業(高質空間形成施設):(仮称)多目的トイレ ■基幹事業(地域生活基盤施設):情報案内板 ■地域創造支援事業:イベント促進事業</p>
<p>目標2: 市民が誇りに持てる安全で便利な公園づくり ・(仮称)やすらぎ広場の整備を実施することにより、安全で利便性の高い市民に愛される公園を確保する。</p>	<p>■基幹事業(公園):(仮称)やすらぎ広場(8,000㎡)</p>
<p>その他</p>	
<p> </p>	

御幸辻地区(和歌山県橋本市)	面積	20 ha	区域	御幸辻地区
----------------	----	-------	----	-------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



御幸辻地区(和歌山県橋本市) 整備方針概要図

目標	大目標:公園を活用した安全で活力あるまちづくりの実現	代表的な指標	地区内におけるイベント開催数 (回/年)	3 (平成27年度) →	7 (令和2年度)
	目標1:市民と観光の交流の対応した活力ある地域づくり 目標2:市民が誇りに持てる安全で便利な公園づくり		公園の来園者数 (人/日)	149 (平成27年度) →	290 (令和2年度)

